

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)		事業実績	効果検証	事業期間		担当課
				うち交付金(円)			始期	終期	
1	大樹町内飲食店限定クーポン券発行事業	全町民に町内飲食店で使えるクーポン券を配布し、町民の消費行動を促すことで、売り上げが減少している町内飲食店を支援し、飲食店の事業持続を下支えする。	4,871,978	4,871,978	全町民へ500円分の飲食店限定クーポンを2枚配布。 ・利用期間: 令和2年4月21日～令和2年6月30日 ・配布総数: 5,498人×2枚=10,996枚 ・利用総数: 9,301枚(84.58%) ・事業費: 補填費 4,650,500円、事務費 221,478円	8割を超えるクーポンの利用があったことから、町内飲食店の下支え、町民の町内消費喚起並びに地域経済の活性化につながった。	R2.4	R2.9	企画商工課
2	大樹町プレミアム商品券発行事業	新型コロナウイルス感染症による地域経済に与える影響を和らげるとともに、町内における消費を喚起・下支えすることを目的とするもの。	10,639,095	6,646,095	プレミアム商品券を発行。 ・利用期間: 令和2年7月1日～令和2年12月31日 ・発行内容: 5,000円分(500円×10枚)の商品券を4,000円で販売。 ・プレミアム率: 25% ・発行総数: 10,000セット ・換金総数: 99,834枚(99.83%) ・事業費: 補填費 9,983,400円、事務費 655,695円 ・その他財源: 道補助 3,993,000円	食料品・飲料を扱う5店舗で全体の57.19%の利用となったが、残りの40%程度は幅広い業種で使用されており、プレミアム商品券の発行により、地域内消費の喚起効果があったと考えられる。 また、同時期に商工会によるクーポン事業も実施され、それによる相乗効果があった。	R2.6	R3.2	企画商工課
3	町内中小事業者等の資金繰り支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受け業績が悪化し、運転資金の借入れを行った町内中小事業者等に対して利子の補給を行うことで、当面の資金繰りを支援する。	7,556,935	7,556,935	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内中小事業者の資金繰りを支援。 ・対象: 対象資金融資(運転資金)を受けた事業者。 ・補助額: 融資額のうち1,000万円を上限に、町が利子及び保証料を補助(5年間)。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内中小事業者の資金繰りを支援することで、事業者の経営継続につながった。	R2.4	R8.3	企画商工課
4	大樹町休業等協力事業者支援事業	道の休業要請に応じ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対象期間内において対象施設(店舗)の休業等に協力した事業者に対し協力支援金を支給し、事業持続の下支えをするもの。	6,800,000	6,800,000	道の休業要請に応じた事業者に対し協力支援金を支給。 ・支援金: 200千円×34事業所	休業や感染リスクを低減する自主的な取り組みの実施要請に応じ、収入が減じた町内事業者に対し協力支援金を支給することで、事業継続の下支えにつながった。	R2.5	R2.5	企画商工課
5	大樹町中小企業等経営継続支援金給付事業	売り上げが一定以上減少した町内中小企業等に対し、経営継続の支援として町独自の支援金を給付するもの。	41,392,494	40,784,509	売り上げが一定以上減少した町内中小企業等に対し支援金を給付。 ・支援金総額: 41,392,494円(110事業所)	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い売り上げが減少した町内中小企業等に対し広く支援金を給付することにより、町内商工業者の経営継続につながった。	R2.6	R3.3	企画商工課
6	感染症対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、サージカルマスク等の資材を購入し、医療機関や高齢者施設等への配布を行う。	1,827,200	1,827,200	感染防止対策として衛生用資材を購入し、福祉避難所、医療機関、高齢者施設等に配備した。 〈衛生用資材〉 サージカルマスク(50枚入/箱×400)、フェイスシールド(200入/箱×2)、防護服(400着)、DS2マスク(10枚入×100)、ニトリル手袋(Sサイズ:100入/箱×12、Mサイズ:100入/箱×24、Lサイズ:100入/箱×24、アルコールハンドジェル、ゴーグル(20個)、非接触型体温計(10台)	自然災害時における要配慮者の衛生環境の充実と感染防止に資することができた。	R2.6	R2.12	保健福祉課
7	漁業経営継続支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響によって魚価が低下するなどして収入が減少した漁業者を支援し、経営の継続を図る。	9,500,000	9,500,000	31事業者に計9,500,000円の支援金を給付した。 (内訳) 常時雇用のある事業者 @500,000円×1事業者 常時雇用のない事業者 @300,000円×30事業者	新型コロナウイルス感染症の影響によって魚価が低下するなどして収入が減少した漁業者の経営の継続を図ることができた。	R2.6	R2.12	農林水産課

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)		事業実績	効果検証	事業期間		担当課
				うち交付金(円)			始期	終期	
8	大樹町立国民健康保険病院事業会計補助	大樹町立国民健康保険病院事業会計に補助し、新型コロナウイルス対策による発熱外来対応に用いるため、遠隔操作が可能な電子カルテ搭載PCを導入するための費用を交付対象経費とする。	792,000	792,000	R3.2.25導入 792千円	遠隔診療の機会は幸いなかったが、その後のワクチン接種の際に、専用受付の設置等が可能となるなど、患者の動線を分ける場面などで高い効果をあげている。	R2.9	R3.3	大樹町立病院
9	大樹町立国民健康保険病院事業会計補助	大樹町立国民健康保険病院事業会計に補助し、新型コロナウイルス対策としてオンライン診療に対応するため、院内全体に公衆無線LAN回線を整備する費用を交付対象経費とする。	1,430,000	1,430,000	R3.2.26導入 1,430千円	入院患者と家族とのオンライン面会に使用されるなど、診療外でも高い効果をあげている。	R2.9	R3.3	大樹町立病院
10	避難所用新型コロナウイルス対策備蓄品整備事業	マスクやフェイスシールド、防護服といった消耗品や非接触型体温計やワンタッチパーテーションといった備品を各避難所へ整備することで、災害時避難所内での感染予防、クラスター発生を阻止を図っていく。	18,216,444	18,216,444	災害時の避難所開設時、避難者及び職員の感染症対策のために必要な消耗品や備品を購入。 消耗品 マスク、フェイスシールド、ゴム手袋、防護服、ゴーグル、アルコール製剤 1,250,000円 断熱材付ダンボールベッド 150台 3,696,000円 備品 ワンタッチパーテーション 150台 8,283,000円 セキュリティビジョン(体温監視) 2台 1,357,180円 AIサーマルカメラ(体温監視) 5台 3,426,500円 レジスクリーン 71,764円 非接触赤外線体温計 10台 132,000円 合計 18,216,444円	避難所開設時の感染症対策として最低限の備蓄品等を確保できた。避難者の特に高齢者等への感染リスクが抑えられることに期待する。	R2.8	R3.3	総務課
11	大樹町消防団感染防止対策事業	大樹町消防団員に対し、感染防止衣・マスクといった資器材を購入し支給することで、災害時に重要な役割を果たす消防団員への感染防止を図っていく。	1,125,300	1,125,300	①感染防止衣(上衣) 300枚×1,320円 396,000円 ②感染防止衣(下衣) 300枚×770円 231,000円 ③サージカルマスク(50入)80箱×1,650円 132,000円 ④N95マスク (10入)50箱×2,750円 137,500円 ⑤フェイスシールド (200入)2箱×55,000円 110,000円 ⑥感染防止手袋 (100入)80箱×1,485円 118,800円	感染症対策に必要な資器材を整備することで、災害時等に活動する消防団員が安心して活動できるよう感染防止対策の整備が図られた。	R2.8	R2.11	消防署
12	特別養護老人ホーム・デイサービスセンター用新型コロナウイルス対策備蓄品整備事業	特別養護老人ホームおよびデイサービスセンターへ、マスクやフェイスシールド、防護服といった消耗品や非接触型体温計やパーテーション、カーテン、プラステラーといった備品を整備することで、施設内での感染予防、クラスター発生を阻止し、衛生管理を図っていく。	6,783,678	6,783,678	①プラスチックエプロン 600枚 103,950円 ②不織布3層マスク 16,000枚、ニトリル手袋 106,700枚、プラスチックグローブ 20,000枚、フェイスシールド 1,200枚、防護服 220枚 4,203,340円 ③3連アクリルパーテーション 1台 93,995円 ④カーテン 34枚 768,693円 ⑤食品急速冷却機(プラステラー) 1台 1,613,700円	①②感染予防に必要な衛生消耗品を確保することにより感染対策の徹底を図りながら事業を継続することができた。 ③④パーテーション、間仕切りカーテンを設置することにより感染リスクの低減が図られ利用者様が安心して利用できる事業所とすることができた。 ⑤プラステラーを導入することにより利用者様へ提供する食事の品質管理・衛生管理を向上させることができた。	R2.7	R3.3	特別養護老人ホーム
13	公共的空間安心・安全確保事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、持続的な対策を講じることで、町民生活に必要な行政サービスの継続的な提供を図る。具体的に、非接触式温度計の導入により、町民の健康状態を把握することができ、公共施設内にパーテーションを設置することで飛沫感染防止が図られる。	5,992,323	5,992,323	・自動検温、消毒システム 3,400,000円(@425千円×8台) ・デスクスクリーン 2,260,000円(全292枚) ・非接触式温度計 76,560円(全12台) ・感染症対策用消耗品 255,763円(アルコール消毒液、マスク他)	持続的な新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じたことで、町民生活に必要な行政サービスの継続的な提供を図ることができた。	R2.4	R3.1	総務課
14	庁内ネットワーク機能強化事業	電子会議室システムやチャットシステムを活用することで、職員間の物理的接触機会を減らし、対面会話回数を減らすことで飛沫感染を防止するために、新グループウェアを導入し庁内ネットワーク機能の強化を図る。	2,442,000	2,442,000	①電子会議室システムやチャットシステムを活用することで、職員間の物理的接触機会を減らし、対面会話回数を減らすことで飛沫感染を防止するために、新グループウェアを導入し庁内ネットワーク機能の強化を図る。 ②Iソフト機器、II導入作業費 ③I+II 2,220千円×1.1	グループウェアを導入したことにより、職員の参集する回数が減り、感染症の感染リスクが減少した。また、情報の共有がさらに高められた。	R3.1	R3.3	総務課

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果検証	事業期間		担当課
							始期	終期	
15	庁内オンライン会議設備整備事業	コロナ禍で需要の高まるオンライン会議を推進・実施していくことで対面会話の機会を減らし感染予防を図るため、プロジェクターやモニターといったオンライン会議の環境整備を行う。	4,546,200	4,546,200	①コロナ禍で需要の高まるオンライン会議を推進・実施していくことで対面会話の機会を減らし感染予防を図るため、プロジェクターやモニターといったオンライン会議の環境整備を行う。 ② I プロジェクター(移動式、据置式、単焦点用)、II モニター(75型、65型)、III WEBカメラ、IV マイクスピーカー、V 行政情報端末機器 ③ I 381,820円(移動式)、1,270,950円(据置式)、306,230円(短焦点用)、II 404,800円(75型)、214,500円×2台(65型)、III 9,575円、IV 224,400円、V 1,520,225円(9台)	主な会議室にオンライン会議用のモニター等を配置することにより、様々な機会オンライン会議に対応でき、感染予防対策に効果を発揮した。 また、オンライン会議に対応することにより、実会議に出席するより時間の効率化が図られた。	R2.12	R3.3	総務課
16	大樹町中小企業等「新しい生活様式」導入支援事業	「新しい生活様式」実現に向け、町内中小企業が行う感染症対策に必要な備品購入、設備整備を支援することで、事業者のみならず町民が安心して生活できる社会を実現し、地域経済の活性化を図る。	13,656,705	9,150,000	新型コロナウイルス感染症対策ため、備品・設備等を導入する事業者を支援。 ・補助金:9,150,000円(48事業所)	感染症対策のため備品、設備等を導入する町内事業者を支援することで、事業者のみならず町民が安心して生活できる社会を実現し、地域経済の活性化を図ることにつながった。	R2.9	R3.3	企画商工課
17	大樹町プレミアム商品券発行事業②	新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を和らげるとともに、町内における消費を喚起・下支えすることを目的とするもの。	18,807,599	18,807,599	プレミアム商品券を発行。全店共通商品券と飲食店限定商品券の2種類を販売。 【全店共通】 ・利用期間:令和3年3月1日～令和3年8月31日 ・発行内容:6,500円分(500円×13枚)の商品券を5,000円で販売。 ・プレミアム率:30% ・発行総数:10,000セット ・換金総数:129,713枚(99.78%) 【飲食店限定】 ・利用期間:令和3年3月1日～令和3年8月31日 ・発行内容:3,000円分(500円×6枚)の商品券を2,000円で販売。 ・プレミアム率:50% ・発行総数:3,000セット ・換金総数:17,868枚(99.27%) ○事業費:補填費 17,944,884円、事務費 793,100円	全店共通商品券は、食料品・飲料を扱う7店舗で全体の57.57%の利用となったが、残りの40%程度は幅広い業種で使用された。 飲食店限定商品券は、各店舗における感染対策やテイクアウトの取り組みにより、ほぼ全ての店舗で利用された。 このことから、プレミアム商品券の発行により、地域内消費の喚起効果があったと考えられる。 また、同時期に商工会によるクーポン事業も実施され、それによる相乗効果があった。	R2.12	R3.9	企画商工課
18	晩成温泉安全安心確保事業	町内にある晩成温泉(指定管理委託施設)に対して感染症対策に必要な備品等を整備することで、感染症に対する強靱な体制を構築し、事業者のみならず利用者が安心して利用できる環境を整え、生産性およびサービス向上を図っていく。	2,219,331	2,219,331	感染症対策に必要な備品等を晩成温泉(指定管理施設)に導入した。 ・導入備品等:検温システム 425,000円、空気清浄器 286,000円、ドア電子錠・網戸設置 774,191円、トイレ改修 715,000円、非接触式体温計 19,140円	感染症対策に必要な備品等を整備することで、感染症に対する強靱な体制を構築し、事業者のみならず利用者が安心して利用できる環境を整え、生産性およびサービス向上につながった。	R2.9	R3.1	企画商工課
19	市街地防災活動支援事業	感染リスク低減を図る目的で住民の避難場所を分散させるため、道の駅を今後避難所指定することを想定し、アクセスが悪くなっている北側出入り口付近の駐車場整備を行う。ソーシャルディスタンスを確保する関係で収容人数が大幅に抑制されることで、駐車場で車内避難することも想定したものである。道の駅は観光客の拠点にもなっているため、災害時の観光客の受け皿としても期待できる。	17,831,000	17,831,000	避難所駐車場を整備。 ・設計費:946,000円 ・工事費:16,885,000円	駐車場が拡幅されたことで、住民の避難場所を分散することや、車内避難も可能となり、感染リスク低減が期待される。 また、道の駅は観光拠点にもなっていることから、災害時における観光客の受け皿としても期待される。	R2.11	R3.11	企画商工課
20	大樹町中小事業者感染予防対策支援事業	大樹町商工会での新型コロナウイルス感染拡大防止および消費促進・拡大に向けた取組について、町が一部経費を負担し、感染拡大防止と地域経済の活性化を図る。	1,200,000	300,000	大樹町商工会が実施する新型コロナウイルス感染拡大防止および消費促進・拡大に向けた取組に対する補助。 事業内容:マスク・消毒液・感染予防啓発ポスターの配布。 補助額:300,000円	会員の感染予防及び感染防止啓発を行う商工会を支援することにより、事業者のみならず町民が安心して生活できる社会を実現し、地域経済の活性化を図ることにつながった。	R2.9	R2.10	企画商工課
21	水産資源開発支援事業	漁協が実施する新たな水産資源(地域ブランド商品)開発事業に対し補助金を交付することで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域の水産業の振興を図る。	5,860,000	5,860,000	漁協に対し、新たな水産資源(養殖サクラマス)の開発に向けた養殖施設を整備(生簀・網・アンカー・ロープ3組、自動給餌装置1機)するための補助金を交付。	新たな取組に対する支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域の水産業の振興を図ることができた。	R2.9	R3.3	農林水産課

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果検証	事業期間		担当課
							始期	終期	
22	水産関連産業流通・衛生環境向上事業	漁協の実施する流通・衛生環境向上による販路拡大・販売促進に資する取組に対し補助金を交付することで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域の水産業の振興を図る。	11,337,410	8,503,000	漁協による次の経費に対し補助金を交付。補助対象経費 11,337,410円×補助率3/4 ①水産加工場で使用する殺菌水生成装置の導入 ②荷捌場で使用する滅菌冷却海水の導水・送水設備の機能増強 ③冷凍保管設備の増強	流通・衛生環境向上による販路拡大・販売促進に資する取組に対する支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域の水産業の振興を図ることができた。	R2.9	R2.12	農林水産課
23	鳥獣害対策ICT活用捕獲機器導入事業	ICT捕獲/パトロールシステムを導入することで、鳥獣捕獲設置場所への巡回頻度を減らし、ハンターの負担軽減・費用抑制を図り、接触機会も減少させることで、効率・効果的な鳥獣被害防止対策の実施と感染拡大防止の効果が見込まれる。	2,549,800	2,549,800	ICT捕獲パトロールシステム「ほかパト」設置 ・親機(基地局)4基 ・子機17基(クマ用箱置) ・管理システム(クラウド)導入	システム導入により、ハンターの巡回等の頻度(不用品外出)が減ったことによる負担軽減及び感染対策が図られた。 効率的な有害鳥獣駆除に資することができている。 [システム通知による捕獲件数] ・R2(R2.10月導入)-3件 ・R3(4月～11月)-13件	R2.9	R3.3	農林水産課
24	子ども農山漁村体験等受入準備事業	飛沫防止用パーテーションを導入し受入施設の机に設置することで、3密を回避する環境を整備し、安全・安心に農山漁村体験等で小中学生を受け入れる体制を構築することができる。	197,208	197,208	飛沫防止用パーテーション 「ノーブランド日本製・kap-r6060(W600×H600×5mm)」36枚	飛沫防止パーテーションを設置することで、新型コロナウイルス感染予防に関する指針やガイドラインの要件を満たし、参加者の安全確保に留意しながら、受け入れることができた。 ①日帰り体験活動 1回 20名 ②宿泊体験活動 2回 計34名 (回数、人数は、パーテーション導入後の数)	R2.9	R2.10	社会教育課
25	運動公園駐車場内公衆トイレ環境改善事業	現状非水洗式の運動公園駐車場内にある公衆トイレを水洗化し、換気扇も設置することで、衛生環境を改善し感染拡大防止を図る。同トイレ周辺は運動公園があり子供の利用が多いため、墓苑にも隣接し町外からの利用者も多いことから、衛生面の改善は感染拡大防止と近隣町民の安心確保にも大きな効果が見込まれる。	3,262,600	3,262,600	運動公園駐車場内の公衆トイレを水洗化し、トイレ内に換気扇を新たに設置。 水洗化・換気扇設置工事費:2,802,800円 サイディング工事費:459,800円	公衆トイレの水洗化および換気扇の設置により、衛生環境が改善され、適度な換気が可能となり感染防止につながった。	R2.12	R3.3	社会教育課
26	B&G海洋センター体育館等換気対策事業	B&G海洋センター体育館やミーティングルームなどに網戸を設置することで、密閉環境を改善し、感染防止を図る。	246,939	246,939	B&G海洋センター体育館、ミーティングルーム、廊下、手洗場の窓に網戸を設置。 (設置箇所、枚数、単価) 体育館:16枚×@11,121円=177,936円 ミーティングルーム:5枚×@8,789円=43,945円 廊下:1枚×@13,277円 手洗場:1枚×@11,781円	建物内各所に網戸を設置することにより密閉環境が改善され、適度な換気が可能となり感染防止につながった。	R2.9	R2.9	社会教育課
27	図書館除菌ボックス等整備事業	紫外線で除菌・ウイルス除去が可能な除菌ボックスを整備することで、貸出および閲覧図書等を媒介した感染を防止し、利用者へ安心・安全のサービスの提供を図る。	636,790	636,790	図書の除菌に使用する機器の購入。 除菌ボックス2台及び設置台 636,790円	返却図書に除菌ボックスを使用することにより、利用者へ安全に貸出、閲覧のサービスを行うことができた。	R2.9	R2.12	図書館
28	GIGAスクール構想 大樹小中学校タブレット整備事業(令和元年度分)	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現。	10,378,000	10,378,000	小学5、6年生及び中学1年生にタブレット端末140台が整備された。 タブレット端末 49,610円×140台 設定費用等(端末設定、操作マニュアル、講習会等) 3,432,600円	1人1台のタブレット端末が整備され、国が進めるGIGAスクール構想の実現に向けた環境を整備することができた。	R2.9	R3.3	学校教育課

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果検証	事業期間		担当課
							始期	終期	
29	GIGAスクール構想 大樹小中学校タブレット整備事業(令和2年度分)	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現。	11,350,000	11,350,000	小学1～4年生及び中学2、3年生にタブレット端末262台が整備された。 タブレット端末 ① 国からの補助対象外分 49,610円×86台 ② 国からの補助対象分 (49,610-45,900)円×176台 設定費用等(端末設定、操作マニュアル、講習会等) 6,430,580円	1人1台のタブレット端末が整備され、国が進めるGIGAスクール構想の実現に向けた環境を整備することができた。	R2.9	R3.3	学校教育課
30	GIGAスクール構想 端末整備ソフトウェア購入分	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現。	9,576,000	9,576,000	タブレット端末を有効活用するためのソフトウェアが整備された。 端末管理ソフト 1,105,500円 学習支援ソフト 1,105,500円 フィルタリングソフト 3,715,000円 ドリル教材 3,650,000円	タブレット端末の持ち帰り学習など、更なる有効活用のための環境を整備することができた。	R2.9	R3.3	学校教育課
31	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) 消毒液や換気用サーキュレーターなど児童・生徒の感染症および熱中症対策の経費や、家庭学習用教材費用など学習保障支援経費を支援することで感染予防を図るだけでなく、3密を回避しながら学習機会の確保を図る。	4,104,363	2,000,000	感染症対策や児童・生徒の学習機会確保のために必要な消耗品や備品を購入した。 消耗品(マスク、手袋、消毒液等) 870,221円 備品(サーキュレーター、非接触式体温計、加湿器、WEBカメラ、プロジェクター等) 3,234,142円	消毒、換気、飛沫防止等の感染症対策により児童・生徒が安心して学ぶことのできる体制を整備できた。また、分散授業や遠隔授業への体制を整備することができた。	R2.4	R3.3	学校教育課
32	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) マスクや消毒液、手袋など保健衛生用品等の購入費用を支援することで学校再開後の集団感染リスクを回避し、感染予防を図るだけでなく、児童・生徒が安心して学ぶことのできる体制整備を図る。	137,096	68,000	感染症対策に必要な消耗品を購入した。 消耗品(マスク、手袋、消毒液) 137,096円	消毒、飛沫防止等の感染症対策により児童・生徒が安心して学ぶことのできる体制を整備できた。	R2.4	R3.3	学校教育課
33	大樹小中学校エアコン設置事業	大樹小学校と大樹中学校、それぞれ特に体調不良者が利用する保健室へエアコンを整備することで換気機能・冷房機能を強化し、生徒・児童への新型コロナ感染防止および熱中症防止を図る。	967,450	967,450	大樹小学校と大樹中学校の保健室にエアコン各1台が整備された。 大樹小学校 517,000円(設置費用含む) 大樹中学校 450,450円(設置費用含む)	新型コロナ感染症対策を行いながら、体調不良者の保健室利用に適した環境をつくることができた。	R2.9	R2.11	学校教育課
34	学校給食費返還等事業	新型コロナによる学校臨時休業に伴い学校給食が中止されたことで生じた、キャンセル出来なかった食材費について町が負担することで、日割り減額分満額給食費を返還し保護者の経済的負担軽減を図る。	294,116	294,116	・新型コロナによる学校臨時休業に伴い学校給食が中止されたことで生じた、キャンセル出来なかった食材費について町が負担。 ・令和2年4、5月キャンセル分298千円(8事業者)	日割り減額分満額給食費を返還し保護者の経済的負担軽減を図ることができた。	R2.4	R2.10	給食センター
35	高齢者生活安心支援事業	75歳以上の高齢者へ地域商品券およびエコバックを贈呈することで、購買意欲を促進し、あわせてコロナで外出機会の減少した高齢者の行動意欲も促し、地域経済の支えと共に高齢者の健康増進も図る。	2,477,640	2,477,640	対象者 1,073人に祝品を配布した。 地域商品券(2千円×1,073人) エコバック1,100ヶ 郵便料(レターパックプラス×28通)	高齢者の外出機会と地域経済の支えに寄与することができた。また、贈呈は民生委員の協力の下に行ったことで、高齢者宅への訪問・見守り活動に資することができた。	R2.8	R2.11	保健福祉課

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)		事業実績	効果検証	事業期間		担当課
				うち交付金(円)			始期	終期	
36	学童保育所新型コロナウイルス感染対策事業	常時60名近くの児童が利用する学童保育所にトイレ換気扇を整備し、手洗い蛇口をレバー式に交換することで、換気機能を強化し、手洗い時の接触機会を減らし、児童の感染防止を図る。	135,300	135,300	学童保育所の施設整備 ・トイレの換気扇の整備 ・手洗い蛇口をレバー式に交換	学童保育所のトイレ換気扇の整備、手洗い蛇口をレバー式に交換したことで、換気機能の向上や手洗い時の接触機会が減り、児童の感染防止を図ることができた。	R2.9	R2.10	保健福祉課
37	赤ちゃん特別定額給付金事業	特別定額給付金の基準日翌日以降に生まれた新生児に対して町独自の施策として、単費で給付を行うことで、新型コロナへの生活支援、出産にあたっての子供の健やかな成長の支援を図る。	4,000,000	4,000,000	新型コロナウイルス感染症への生活支援と、子育て支援を目的として、生まれた新生児に対して、特別定額給付金と同額の10万円を支給した。 10万円×40人	子育て世帯の生活を支援するとともに、出産にあたっての子どもの健やかな成長を支援することができた。	R2.9	R3.3	保健福祉課
38	大樹町老人デイサービスセンター送迎車購入事業	老人デイサービスセンターの送迎車を増車することで、少人数かつ多頻度の送迎の実現を可能とし、利用者および職員の感染予防を図る。	4,831,270	4,831,270	・ハイエースバンTECSウエルキャブ 1台 4,831,270円	少人数送迎の実施により車内における利用者様及び職員の密集が解消され感染リスクの低減を図ることができた。	R3.3	R3.12	特別養護老人ホーム
39	大樹町老人デイサービスセンター介護ロボット等導入事業	老人デイサービスセンターへ介護ロボット等を導入することで、感染防止のため3密回避の介護サービス提供で業務負担が増えている職員の介護負担軽減、業務効率化を図る。	1,752,820	1,752,820	・座位、立位移乗補助装置(移乗用サポートロボHug T1-02) 2台 1,398,400円 ・腰補助用装着装置(マッスルスーツEvery) 3台 354,420円	感染予防のため密接を回避した介護サービスの提供及び感染予防の取り組み等で職員の心身の負担が増加しているなか介護ロボットを導入することにより介護負担軽減、業務効率化を図ることができた。	R2.9	R3.3	デイサービスセンター
40	大樹町特別養護老人ホーム介護ロボット等導入事業	特別養護老人ホームへ介護ロボット等を導入することで、感染防止のため3密回避の介護サービス提供で業務負担が増えている職員の介護負担軽減、業務効率化を図る。	1,899,230	1,899,230	・座位、立位移乗補助装置(移乗用サポートロボHug T1-02) 2台 1,398,400円 ・水洗ポータブルトイレ 1台 442,200円 ・コミュニケーション用人形型ロボット(スマイビス) 1台 58,630円	感染予防のため密接を回避した介護サービスの提供及び感染予防の取り組み等で職員の心身の負担が増加しているなか介護ロボットを導入することにより介護負担軽減、業務効率化を図ることができた。	R2.9	R3.3	特別養護老人ホーム
41	大樹町立国民健康保険病院事業会計補助	大樹町立国民健康保険病院事業会計に補助し、介護ロボット等を導入することで、感染防止のため業務負担が増えている職員の介護負担軽減、業務効率化を図るための費用を交付対象経費とする。	936,000	936,000	R3.3.5 936千円	導入した機器により、患者との着雪接触が減るなど、感染機会の減少に一定の効果あげている。	R2.9	R3.3	大樹町立病院
42	大樹高校ICT環境整備事業	大樹高校へタブレットやPC、プロジェクター等を整備することで、遠隔授業を可能にするなど学習環境のICT化を図る。	4,536,961	4,536,961	大樹高校への貸出用タブレット端末等が整備された。 タブレット端末 48,400円×54台 ノートパソコン 62,975円×3台 プロジェクター 122,980円×2台 その他周辺機器 1,488,566円	授業でタブレット端末を利用するなど、ICT環境を充実させることができた。	R2.12	R3.3	学校教育課

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果検証	事業期間		担当課
							始期	終期	
43	大樹小中学校 ICT環境整備事業	大樹小中学校各教室へクラスの全児童・生徒が十分に見やすいモニターを整備することで、各学校での学習環境のICT化を図る。	3,610,000	3,610,000	大樹小中学校と大樹中学校の教室に大型モニターが整備された。 大樹小学校 12台 2,090,000円(金具等設置費用含む) 大樹中学校 6台 1,520,000円(金具等設置費用含む)	タブレット端末等のICT機器をより有効に活用できる環境を整備することができた。	R2.12	R3.3	学校教育課
44	大樹町立国民健康保険病院事業会計補助	院内の検査情報管理システムを更新し新型コロナウイルス診断の精度を高めるとともに、検査に携わる医療従事者の安全性を向上させるため、検体の不活化に必要な安全キャビネットを導入することで、診療体制の維持・強化につながる。また、一部電動ベッドを導入することで患者との接触機会を減らし感染予防につながり、医療従事者の業務負担軽減にもつながることからこれら医療機器導入に要する費用を交付対象経費とし、大樹町立国民健康保険病院事業会計に補助する。	16,497,000	16,497,000	R4年度へ繰越 事業費17,933千円	新型コロナウイルス感染症の診断能力と病棟感染予防につながった。検査・診断にあたる職員や病棟の職員に感染者が出てないことから、高い効果をあげている。	R3.3	R3.3	大樹町立病院
45	大樹町立国民健康保険病院事業会計補助	大樹町立国民健康保険病院事業会計に補助し、新型コロナウイルス対策による業務量増大に対応するため、看護師2人、介護士1人の人材確保を行うための費用を交付対象経費とする。	6,753,000	6,753,000	事業費 6,774千円	特に入院・転院にあたってはコロナ関連の業務が増える中、派遣会社からの看護師等の起用により、病棟の機能維持に高い効果を上げた。	R2.9	R3.3	大樹町立病院
46	福祉センター安心・安全確保事業	持続的対策を講じることで、多くの住民が利用する福祉センターでの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防し、会館機能の継続的な提供を図る。	3,039,553	3,039,553	・手洗器自動水洗化、洋式トイレ温水洗浄便座化工事 2,178,000円(手洗器9台、トイレ11台) ・エアコン設置工事 660,000円(エアコン1台) ・網戸修繕 201,553円(網戸15枚)	接触機会の減少や換気機能の向上により、会館機能の継続的な提供を図ることが可能となった。	R2.11	R3.3	総務課
47	給食センター安心・安全確保事業	電解次亜水生成装置を導入することで、電解次亜水を食材洗浄や消毒・手洗いに活用し、児童・生徒への給食を供給する上で重要な給食センターでの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の予防対策を強化し、安定的な給食の確保を図る。	588,500	588,500	・電解次亜水生成装置を535千円×1.1で導入	・食材洗浄や消毒・手洗いに活用し、児童・生徒への給食を供給する上で重要な給食センターでの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の予防対策を強化し、安定的な給食の確保が図られた。	R2.12	R3.2	給食センター
48	無線システム普及支援事業費等補助金	現在町内で光回線が整備されているのは市街地及び一部郡部に留まっており、市街地郡部問わず全町で光回線を利用可能な環境を整備することでデジタルデバイスの解消を図り、かつテレワーク等アフターコロナの需要に合った環境整備を図る。	639,996,000	152,032,000	R4年3月に工事完了、4月15日に供用開始となり、光回線の全町整備によるインターネット環境の格差が解消された。	サービス提供開始から2年後を目途に、アンケート等による事後評価を行い、総務省(CIAJ)に対し報告するとともに、アンケート等についてはインターネットを通じて公表する。	R2.9	R4.3	企画商工課
49	高度無線環境整備推進事業(任意負担分)	現在町内で光回線が整備されているのは市街地及び一部郡部に留まっており、市街地郡部問わず全町で光回線を利用可能な環境を整備することでデジタルデバイスの解消を図り、かつテレワーク等アフターコロナの需要に合った環境整備を図る。	190,050,000	34,521,231	R4年3月に工事完了、4月15日に供用開始となり、光回線の全町整備によるインターネット環境の格差が解消された。	サービス提供開始から2年後を目途に、アンケート等による事後評価を行い、総務省(CIAJ)に対し報告するとともに、アンケート等についてはインターネットを通じて公表する。	R2.9	R4.3	企画商工課